

## 希学園 第404回 小3公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第404回公開テスト 小3国語 解説動画(2026年1月11日実施)	<a href="https://vimeo.com/1153112434/487b37fd01">https://vimeo.com/1153112434/487b37fd01</a>

6 ひ  
と  
み  
3 工  
4 ウ

7 3  
5 工  
ン  
ジ  
エ  
ル  
い  
た  
少  
女

2 I 人形を抱いた少女  
II 戰争

3 1 工  
④ イ

4 黒鉛焼く  
I 1  
II 2  
III 2

II 質のい黒鉛  
I 1  
II 2

3 I イギリス  
II A 工  
B イ

2 1 鉛筆  
④ 口絵  
① 一戸  
⑤ 白昼  
② 明ける  
③ 石頭

配点  
1 各2点×5=10点  
2~3 各5点×18=90点  
<計>100点

# 希望園 第44回 公開テスト 小3 国語 2026年1月11日実施【解説】

**[1]** 小学校2年生までに学習した漢字から出題している。①「戸」を「こ」と読む熟語は他にも「戸外」や「戸数」「戸主」などがある。「と」という読み方だけではないので覚えておこう。②「明」には「あ(ける)」の他に「あか(るい)」「あき(らか)」という訓読みや、「メイ」「ミヨウ」という音読みがある。③「石」の二画目が一画目より上へつき出ないよう気をつけよう。「トメ」「ハネ」「ハライ」だけでなく、「つき出す」「つき出さない」までていねいに覚えること。④「口絵」とは書籍や雑誌の巻頭(はじめ)に入られた絵や写真、イラストのことである。⑤「昼」の部首は「戸(しかばね)」ではない。昼は太陽が出ている時間帯なので、太陽のイメージの「日(ひ・にち)」となる。

**[2]** ヨシムラマリ著 高畠正幸監修 『さんねん? びっくり! 文房具のひみつ事典』

1 □①のあとで「フランス産の黒鉛芯」が作られるようになつた背景が説明されていて、その黒鉛芯は何に使うのかと考えて本文をたどると、「この芯の作り方は、今の鉛筆でもほとんど変わっていません」とあるので、「鉛筆」の話であつたとわかる。

2 A ( A ) の前では「黒鉛のかたまり」を「筆記用具にしてい」とあり、( A ) のあとでは「質のいい黒鉛はイギリスのボローデール地方でしかとれ」ない( II 簡単には筆記用具にできない)と書いてあることから、意外なつながり、反対のつながりになつてているとわかるのでエ「しかし」がはいる。

B ( B ) の前で「ナポレオン」が「カルノー」に「ムチャぶり」をしたが、「カルノー」は自分ではどうすることもできず、「コンテ」を頼つたという流れであった。自然なつながりになつてているのでイ「そこで」がはいる。

※「また」は複数の事がならべるとき、「たとえば」はうしろに具体例を述べるときに用いる接続語である。

3 フランスが自分の国で「黒鉛芯」を作らなくてはならなくなつた理由はなしにかと考えて本文をたどると、「イギリスとフランスの間」で起こつた「戦争」だと見当をつけられる。本文には「戦争」の影響でフランスに「黒鉛が入つてこなくな」とあり、どのような「黒鉛」かと考えてさらに本文をたどると二行目に「質のいい黒鉛」とあるため、Iには「イギリス」、IIには「質のいい黒鉛」がはいるとわかる。

4 コンテはどうやつて(どのように方法で)フランス産の黒鉛芯を作り出したのかと考えて本文をたどると、第三段落に「(コンテは)黒鉛の焼く方法(を思いつきました)」とあるので、ここが答えになりそうだとわかる。あとは「作り方」へのつながりがよく、字数指定に合うようにぬき出そう。数え間違いを起さないためにも、五文字ごとに区切るなど工夫してみてもよいだろう。

5 I 本文うしろから二行目に「黒鉛と粘土の割合を変えて、いろんな濃さの芯を作れます」とあるので、正しい。

II ナポレオンが国产の黒鉛芯を作るよう命じたのは「カルノー」である。「コンテ」は「カルノー」に頼まれて黒鉛芯の作り方を思いついた人物である。よつて正しくない。

III 黒鉛のかたまりをめぐつて戦争が起こつたのではなく、戦争が起つた結果としてフランスに黒鉛が入つてこなくなつたのである。よつて正しくない。

**[3]** 小手鞠るい『マイ・ディア・フレンド』 洋問題作成の都合上、一部表記を変更しています。

1 比ゆの問題は、その場面をきちんとイメージすることが大切である。「すずやかな、□①みたいな声」とあるので、「すずしい感じ」で「音の出るもの」というイメージができるだろう。よつて答えはエ「風鈴」となる。次に「ぱづん」と、空から落ちてきた□④みたいな「とば」とあるので、「ぱづん」と「落ちてくる」というイメージができるだろう。よつて答えはイ「雨ふぶ」となる。「落ち葉」も落ちてくるものだが、「ぱづん」ということばに合わないので不適当である。

2 章子さんは、タイトルから予想した内容と実際の本の内容がちがつていたため「おどろいたような表情」になつたのである。読む前は「女の子のお話なんだね」と言つていたが、少し読んだあと「これつて、戦争のお話?」と言つている。IIは二字なので「戦争」で決まるが、Iは八字で「女の子」のイメージである。どんな女の子かと考えて本文をたどると「人形を抱いた少女」ということばが見つかるだろう。

3 □③の前に「(章子さんの質問に対してもう答えたらいいのか、わからなくて」という若葉の困っている様子がえがかれているのでエ「もじもじ」が適当である。

4 線⑤の直後で「さびしいの? どうして?」と章子さんが疑問をもつていることから、若葉の返事が意外なものだつたためおどろいたということが読み取れる。

5 □⑥のうしろに「ぼくの、だいじな、だいじな、マイ・ディア・フレンドが死んでしまつた」とあるので、ぼくにとつてだいじな存在で、死んでしまつたのはなにかと考えて本文をたどると、若葉が飼っていた犬の「エンジエル」とあるとわかる。

6 「さびしいの? どうして?」や「あのね、あのね:死んでしまつたから」にかぎかっこがつけられていよいのは、実際に声に出されていないからである。では、声に出されていないのにどうやってことばのやりとりをしているのかと考えつつ本文をたどると「章子さんのひとみは、ぼくに、そう問い合わせているようだつた」とあるので、「ひとみ」がはいるとわかる。

7 「この子は、とても強い子ね」とあり、「この子」は「女の子」のことであるとわかるので、章子さんが『マイ・ディア・フレンド』の本を少し読んだあとにこのことばを言つたと見当をつけられる。また、【3】の直前に「章子さんは、どちらで顔をあげて、こう言つた」とあることから、ここにいれるのが適当であるとわかる。